

人との関わり

M S

この海外研修でたくさんの人と出会い、時間を共有し、いろんな文化や価値観を知ることによって、自分の視野を広げることができました。今まで日本しか知らなかった私にとっては何もかもが新鮮で、驚きの連続でした。自分の持っている可能性を広げ、人間として大きく成長させてくれる、貴重な経験となりました。

マレーシアの学生は、日本の学生とは勉強に対する姿勢が根本的に違い、とても驚きました。大学寮には机とベッドしかなく、環境面でも生活面でも決して整っているとは言えませんでした。彼女たちは不満を持つどころか、自分の明確な目標を持って、その達成のためにたくさんの努力をしていました。日本の環境は決して当たり前ではないことを、身をもって実感しました。それと同時に、快適な環境に恵まれているにもかかわらず、特に目標も持たずになんとなく毎日を過ごしていた自分がいかに贅沢だったか、またどれだけ不勉強だったのかを知り、とても恥ずかしく思いました。

交流の中でも、マレー語や英語はもちろん日本語、中国語と何ヶ国語をも当たり前で話す学生に対し、つたない英語しか話せない自分を情けなく思いました。自分の意思をうまく伝えられず、もどかしい思いもしました。マレーシアの学校は英語で授業を受けるからかもしれませんが、私たちはやはり勉強不足です。私たちは小中高と英語を学んでいますが、実際に海外の人ときちんと英語でコミュニケーションがとれる人は少ないです。現在の国際社会で通用する人間になるためにも、私たちには机に向かう勉強だけでなく、もっとコミュニケーション力を高めるために海外の人とも積極的に関わる必要があると思いました。

私は今も、現地で知り合った友達とメールのやり取りをしています。新しい知識が増え、とても刺激になります。あと、日本に帰ってきてから英会話と中国語の勉強も始めました。今できることを精一杯やっておけば、自然と道は開けてくると思うからです。

マレーシアの人々との交流では、たくさんの刺激を受け、私ももっと頑張ろう、と、とても前向きな気持ちになれました。また、これを機に、自分の将来についても真剣に考えるようになりました。



図 1 KTJ の学生との交流

これからも、何事にも努力を怠らず、もっともっと自分の可能性を広げていきたいです。この研修で学んだたくさんの方のことを決して忘れず、これからの人生に生かしていきたいです。